

初めて日記を書く

2019.09.05

さっき撮った写真がなくなった555

これは日本語で投稿されたものです

幻の新しい生活

2019.09.15

昨日の土曜から、本格的な日本高校生活がようやく始まった、不安と嬉しさを抱いて、学校に行った。

最初には何か話す勇氣もなくて、ずっと一人で教室の角に本を見ていた、みんなと友達になることが可能性があるかなと思って、臆病の性格で黙っていた。しかし、授業に行く時、みんなさんは「これ必要ね」「教室を変えるから、一緒に行こうか」と聞いた。また、授業が終わってから、周りのクラスメートから「内容が分かった？」と聞いてくれて本当に心を温めた。

多分生活の実感がいつも日常の出来事から出ていくかもしれない。初めてのスクールバスに乗る時、大勢いの生徒が集まり、わたしは慌ててどうするかわからなかった同時に、背後からクラスメートの話しかける声が届いて安心した。バスの中でみんなと喋っていて、「カンフーができるの」と面白い質問が出た。笑い声に幸せを感じた。



青空のように明らかで友達になるよ、これからもよろしくね🌙

これは日本語で投稿されたものです

关于最近

2019.10.07

最近真的越来越好了。

自从和中心的一番交流之后，同学们开始逐渐关心我，我也开始主动和同学搭话。原来他们真的只是太害羞了。如果你去和他们聊天，他们会很高兴的。知道吗？因为你们，我不再一个人望向窗边，不再一个人趴在桌上装睡。你们笑起来。再冷的北海道也会变得温暖，天上的阴云会变成甜甜的棉花糖。

而部活给我带来了一种新的体验。我惊讶于他们在日复一日的枯燥的训练中，依旧开怀大笑，挥汗如雨。我敬佩于他们会因为犯了一个小小的错误就大声的说对不起。我感动于他们会20多个人一起等我做完这组训练。他们不会瞧不起你，而是给你喊加油。他们好像真的把我当做了团队的一员，即使我无法参加比赛，无法为这个队伍争得荣誉。但他们仍会耐心地教我正确的动作，不厌其烦。

在这里还要特意提一下大川女士。她总是会主动地叫着我周末一起来玩，一起吃饭。她还会带着我去她家蹭免费的WiFi(笑)看来我以后要和她多多打好关系(from学长)

在最后的最后，我还是要感谢这些帮助过我的人。也许你们只是觉得这是徒手之劳，而我会因为他偷偷高兴好久。这个组，这些庆祥最受欢迎的老师，这个篮球部，这位大川女士，还有中心，还有好多好多。他们值得我哭泣也值得我高兴。他们值得我用这一年去珍惜他们。

原来一个人也可以过得很好

2019.10.28

最近几天没什么特别的，要说最印象深刻的就是熬夜准备考试，但可能是因为日本高二特进班的课程对我真的有一定难度吧，感觉这次考试没有考好。无所谓啦，最重要的是快乐！！！！

也许是因为大家都太爱学习了，忙于准备未来大学的相关考试，好像都没有时间约我出来玩，没办法，只好自己出来了，但正好撞上重感冒，虚弱的身子不知道能不能支撑我自己生活，还好在今天早上起床的时候感觉好多了，穿上衣服准备下楼吃饭（不好意思12点才睡醒）。话说今天天气好棒，太阳公公并不吝啬他的阳光，风也不是很大，总感觉很美妙很温馨。路过街边的一个并不起眼的类似仓库的饭店，心想也没什么想吃的，就进去看看吧，结果进去之后就被深深吸引了，虽然较为阴暗，但非常温暖，给人一种和很多人一起，听着爵士，每个人都在沉默着，细细品味的感觉。周围粉饰着各种小玩意儿，还有三座木制暑假，上面排列着一些很老的漫画。周围吃饭的人也说说笑笑的，让我也变的开心啦。

晚上的我又去了札幌的拉面共和国，不得不说，气氛还是很好的，只是这价格和味道不敢恭维，有点浪得虚名的感觉了，由于实在不想等旁边两家比较火爆的店，于是就选了旁边一家比较冷清的，不是经常有那种在不太火爆的店里发现惊喜吗，我也抱着这样的心情去试试，结果可想而知，我果然知道了它这家店为啥不火爆了，就是味道一般还很贵。但还是心情很好，因为热乎乎的东西真的会带来好心情。

以上这些都是一个人做的，没有寄宿家庭，没有同学陪着，但生活还要照常继续，我未来一定可以和同学一起出来玩的。每天晚上都很快乐，因为有人陪我聊太，听我抱怨，谢谢你啦。





初の大雪

2019.11.16

今週木曜日、てっきり雪がたくさん降る思ってたけど、朝起きたら

「なんだ、雪まだ少ない？無駄にドキドキした。」

疲れた体を引きずりながら宿舎を出た時、目の前の景色に衝撃を受けた。

柔らかな風が小さな雪の花をのせて澄んだ空に漂い、まるで世界中が一つ一つの雪の花をじっと見つめているみたいで、もともと静かな札幌がさらに静けさを増し、人々はこの雪が自分の心を慰めてくれるのをまっているのか、突然やってきた喜びは私を興奮させるのではなく、安心を感じさせた。

「秋が過ぎて、本当の札幌がやってきたんだ！」

ぼくは期待を胸にこう言った。

(※これは中国語で投稿されたものをスタッフが日本語に訳したものです)



ありがたく、良いお年を

2020.01.06

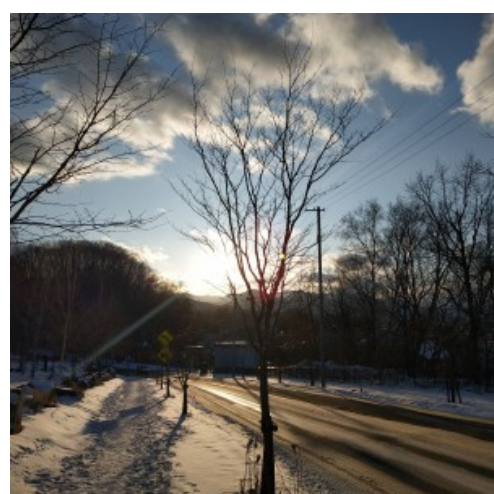
最近の色々なことは初めて接して、非常に素晴らしい経験だと思う。

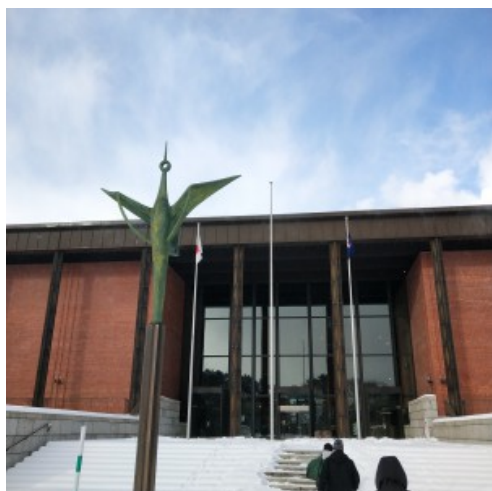
まずは日本に来たから初めてのホームステイ生活を体験したこと。今回のホストファミリーは全部で3つあって、何度も生活地を変えるのが嫌だと思う一方で、様々な日本家庭の生活を体験するのも留学生にとって、不可欠である。

今日までもう二つのホームステイを過ごした、その短かった9日に日本人の家族と一緒に紅白を見たり、おせち料理を食べたりして、そして2日と3日に露天温泉に行って、狸小路で「真実」という枝裕和監督の映画を見た。北海道の露天温泉はまじで不思議な感じを与えられる存在だと思う、水面以上の体は寒いだが、以下の体とても暖かくて、ゆっくりくつろいで一日の疲労を全く捨てる。もしみんなが北海道に旅をしたら、露天温泉はきっとミスできないおすすめだ。

更にお正月に関係あるイベントに参加して、勉強になった。例えば、家族とお家の隣にある神社に行って、初詣した。神社に家族にいる受験生たちに合格するように祈り、孫の生まれるのが安全にするように願っている。また鐘を突いた。おじいさんの車に乗って観光する間に、色んな神社を見つけた。神社という存在は日本人の生活にとって必要だと思う。

今度はずっと札幌に残っているうちに、様々な家庭を体験し、たくさんを知った。その中で日本に残り、生活する息子と娘もいるし、外国に行って外国人と結婚した人もいる。生活方法というのは、人によって違うが、両親の生き方と違って、自分の生き方を守り続けるのはきっと後悔しない選択だと思う。そういうわけで、「それから、自分自身の信条を守って生きていてください」という考えで頑張る。





これは日本語で投稿されたものです